



サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-050

発行 46年 3月20日

1. 標 題 計器照明の改善
2. 適用機体 FA-200シリーズの機体で製造番号 # 1 ~ # 100号機に該当する機体、及び航技研機
3. 適用度 任意事項
4. 目 的 計器照明を有効に行ない、夜間、計器を見やすくする。
5. 指 示 計器照明灯の追加、及び位置変更。
6. 実施時期 任 意
7. 承 認 航空局承認 (NO-東-012) 46.3.1
8. 所要部品 この作業には下記の部品が必要である。

部 品 番 号	部 品 名 称	1機当個数
322049	SPLICE	1
200-364136-001	SLIDE PLATE	1
200-364135-001	BRACKET	1
200-364134-001	SUPPORT PLATE ASSY	1
200-364133-001	ARM ASSY	1
200-364132-003	STOPPER	1
TY-15	TY-RAP	2
NAS679A08W	NUT	4
NAS679A06W	NUT	5

FAS-050

PAGE 1 OF 6

部 品 番 号	部 品 名 称	1 機当個数
NAS43DD3-8	SPACER	1
NAS43DD3-30	SPACER	2
NAS43DD3-20	SPACER	1
NAS43DD1-8	SPACER	1
MS35206-250	SCREW	1
MS35206-249	SCREW	1
MS35206-248	SCREW	1
MS35206-247	SCREW	1
MS35206-233	SCREW	1
MS35206-230	SCREW	1
MS25027-1ORA-5395-1	LIGHT ASSY	1
MS24693-526	SCREW	2
L17A20N	HARNES S	700 ^m / _m ×1
L16L20	HARNES S	700 ^m / _m ×1
FVD125-M3	TERMINAL	3
F-0315-130020	INSULATION TUBE	2
F-0315-070020	INSULATION TUBE	1
AN960D8	WASHER	4
AN960D6	WASHER	6
AN960-6	WASHER	4
AN935-6	WASHER	2
AN3121-1816	LAMP	1

9. 特殊工具 な し

10. 重量重心 変化なし

12. 準拠資料 な し

13. 所要工数 18H

13 作業手順

- 1 計器板化粧カバー（左）を計器板にとめているナットをはずし取り外す。
- 2 正面固定風防フレーム左側化粧カバーを取りはずす。このとき図-4 ㊸部に示された計器灯も同時に取り外し、カバーをめくつた状態で計器灯ハーネスを近くのスプライス部で切離す。
- 3 可動風防左側レール化粧カバーを取り外す。
- 4 前席左側内張りを取り外す。
- 5 前項2で取り外された計器灯取付け用ナットプレート2枚を除去する（図-3参照）
- 6 図-3で示された個所の構造材に図示の如く、 $.379 \sim .375 \text{ IN} \Phi$ の孔を穿孔し、ナットプレート（2枚）を取りつける。
- 7 前項4で取り外された内張りに図-3の要領で 6.4Φ アナを穿孔し、グロメット、MS35489-ISを取り付ける。及び $.149 \sim .139 \text{ IN}$ の孔2枚を穿孔する。
- 8 前項2で取り外された計器灯のハーネスを前項7のグロメットを通し、スプライス部で接続し、前席左側内張りを所定位置に取り付け、計器灯を以前取り外したスクリーンを利用して取り付ける。
- 9 図-4 ㊸部位置計器板カバーに、図-2の寸度になる様計器灯取付け用孔2枚を穿孔する。
- 10 図-2に於て右部計器灯のハーネスを計器灯の位置で切断し、計器灯を取り外し、前項9で穿孔された位置に位置決めする。
- 11 計器板、化粧カバーの裏面を通っている電源線、アース線を図-2の指示された位置で切断する。
- 12 前項11で切断したハーネスを図-5及び図-6の要領で前項9の計器灯に接続する。
このときアース線は切断した両端をターミナルFVD1.25M3で接続し、そのターミナルを計器灯と共締にしてこの個所の計器灯を図-5の要領で取り付ける。
- 13 図-4 ㊸個所及び㊹個所の計器灯はそのままとする。
- 14 図-1に於てサポートプレート、200-364134-001を所定の位置に位置し、サポートプレートの孔4枚を基準にして計器板カバーに $.174 \sim .165 \text{ IN} \Phi$ 孔を穿孔する。
- 15 図-1に於て、アーム組立、200-364133-001の端部にそれぞれインシュレーションチューブ、F-0315-070020、F-0315-130020を挿入し、それを通してハーネスL17

A20N (アース側), L16L20 (電源側) を挿入する。その中のアースの端部にターミナル, FVD1.25-M3 を取りつけ, アーム組立に計器灯組立, MS25027-1 (or A-5395-1) をスクリュー, MS24693-5-26, ワッシャー, AN96D6, ナット, NAS679A06W で取り付ける際共締にする。

一方, 電源側のハーネスは計器灯組立に図-6 詳細C を準用して接続する。

16 図-1 に於て, サポートプレートのナットプレートにアーム組立をスクリュー, MS35206-233, スペーサー, NAS43DD58, ワッシャー, AN960D6, 2ヶで取りつける。

17 前項15及び16で組立てられた組立品を前項14で穿孔された位置に, ブラケット, 200-364135-001及びスライドプレート200-364136-001でアーム組立をはさんで図-1で指示された部品, スクリュー, スペーサー, ナット, ワッシャーで取りつける。

このとき, ハーネスも指示位置にタイラップ, TY-15で支持する。

18 サポートプレート及びブラケットに図-1で指示された位置に $.147 \sim .139 \text{ IN } \Phi$ の孔を穿孔し, ストッパー, 200-364132-003をスクリュー, MS35206-230, ワッシャー, AN960D6, ナットNAS679A06Wで取りつける。

19 図-4に於て, 前項10で切断されたハーネスとスライド式計器灯からの電源側ハーネス, L16L20をスプライス, 322049で結合する。

一方, スライド式アース側のハーネスは, 先に切断された現アース線とターミナル, FVD1.25-M3で結合し, 旧計器灯取付位置の一方を利用し, 図-5矢視B-Bのアース取付要領を準用して取り付ける。不用になる1ヶの孔はスクリューでふさぐ。

20 上記作業が完了したら誤配線, 短絡等がないことを充分確認し, 点灯試験を実施する。

21 可動風防レールカバーを取りつける。

22 正面固定風防フレーム左側化粧カバーを取りつける。

23 計器板化粧カバー (左) を取りつける。

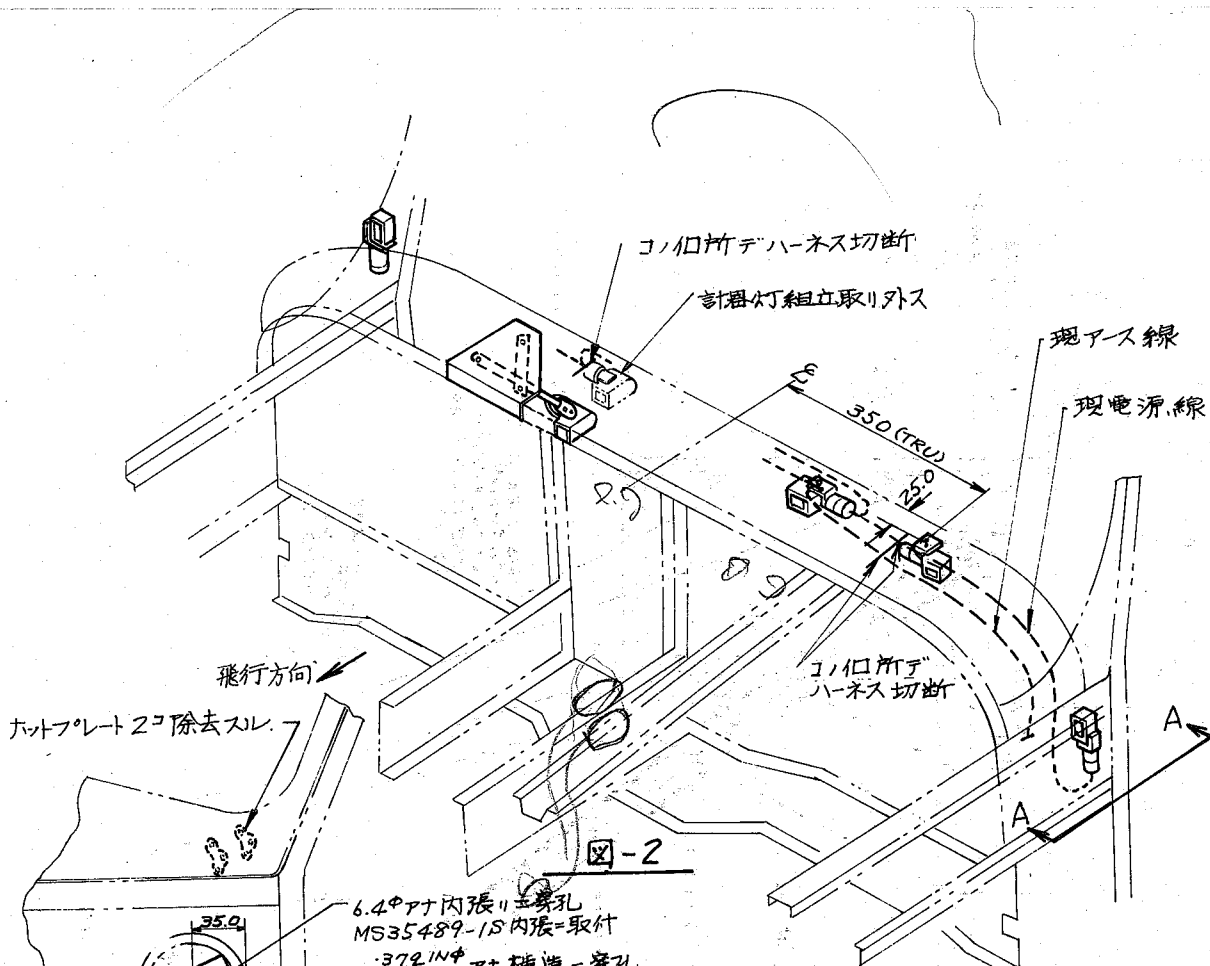


図-2

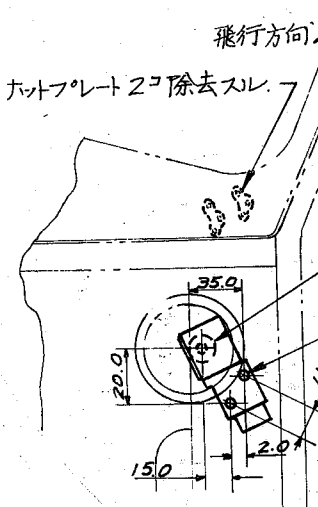


図-3 矢視 A-A

6.4φア+内張リ=穿孔
MS35489-18内張=取付
378 INφ ア+構造=穿孔
NAS684A06ハットプレート取付. 2
139 INφ ア+内張=穿孔

AN960-6 2 REQD
NAS679A06W

AN960-6 2 REQD
AN935-6
NAS679A06W
FVDI.25-M3

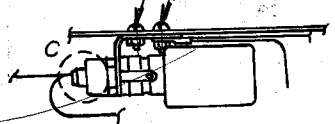


図-5 矢視 B-B

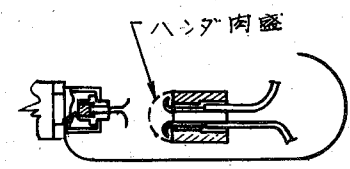


図-6 詳細 C

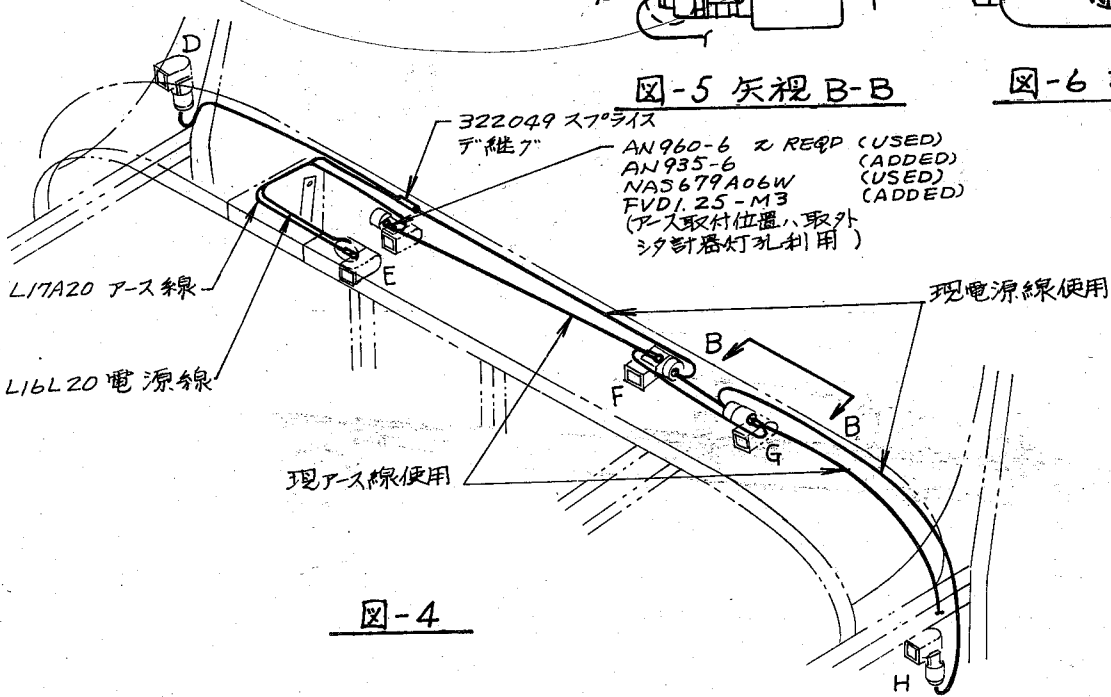


図-4

322049 スワッチ
テ継フ
AN960-6 2 REQD (USED)
AN935-6 (ADDED)
NAS679A06W (USED)
FVDI.25-M3 (ADDED)
(ア+取付位置ハ取外
シ計器灯孔利用)